

(生活・行政サービス向上-N-4)

徘徊等高齢者支援ネットワーク事業(まつやま徘徊SOS)
(社会福祉法人 松山市社会福祉協議会)
<http://www.matsuyama-wel.jp/>

〔概要〕

松山市内で徘徊等により高齢者が行方不明になった際に、携帯電話のメール機能を活用し、写真付きの情報を協力者へ情報提供し、早期発見、保護に努める事業。

〔コラム〕

この徘徊等高齢者支援ネットワーク事業は、高齢化の急速な進展に伴い、認知症高齢者数が今後ますます増加することが予測されていることから、松山市が進める松山市認知症高齢者見守りSOSネットワーク事業の支援の一環としてシステム開発を行いました。

このシステムは松山市社会福祉協議会(以下、市社協という)が、平成16年に立ち上げたボランティアコーディネートのシステム「ボランティアフォン」を改良し、今まで実施してきたFAXや町内放送、電話連絡等による搜索活動に加え、より多くの協力者へ早く情報発信を行うことで早期発見につなげるためのシステムを開発しました。

このシステムの特徴としましては、情報配信をする際に行方不明になった時の服装や状況等に写真を4枚まで添付し情報発信することが出来ます。

また、ご家族等(申請者)の要望により、専門職や民生委員・地区社協関係者のみへ情報発信してほしい、あるいは特定の地区のみに情報発信してほしいなど、選択して送信することも可能となっています。

徘徊高齢者の特徴や顔写真の情報があれば、搜索の際に、より効果があるのではと期待しています。

このシステムの搜索の流れは、

- ① 依頼者は、警察へ搜索願いを届出した後、市社協へメール配信の依頼をします。
- ② 市社協は、事前に登録いただいた協力者へ搜索依頼のメールを配信します。
- ③ 協力者は、メールが届きましたら、可能な範囲で搜索に協力いただきます。
- ④ 協力者が、発見、保護した場合は、警察へ連絡していただきます。依頼者は、市社協へ保護されたことを連絡していただきます。
- ⑤ 市社協は、協力者へ、発見保護できたことを搜索終了メールにて配信し、搜索終了と言う流れとなっております。メールで送られた個人情報につきましては、それ以降は、情報が見られなくなるようになっています。

まだ、4月にスタートしたばかりで、登録者数も700名を超えたところですが、このシステムが機能するためには、まだまだ協力者の登録が必要となります。現在、企業等へも周知啓発を進めており、認知症の理解者拡大と登録者拡大に取り組んでいます。

(問い合わせ先)

社会福祉法人 松山市社会福祉協議会 地域福祉課

TEL:089-941-3828 FAX:089-941-4408 e-mail:chiiki@matsuyama-wel.jp

